

～安全と安心の共創～

2006年10月28日発行 10月号 No. 141

◇東ト協ロジスティクス研究会発足おめでとうございます！

(社)東京都トラック協会青年部 本部長 藤倉 泰徳

ロジ研の皆様こんにちは！まずは、ロジスティクス研究会の発足を心からお祝い申し上げます。

今年5月の総会で青年部本部長を仰せつかりました足立支部の藤倉泰徳と申します！青年部に入部して10年余り、支部青年部長を4年、副本部長を6年させていただき、このたびの大役をお受けし身の引き締まる思いでございます。趣味は大きな玉から小さな玉までの「陸上球技全般」です。ギャンブルは一切やりません。(博才がないようです)生まれも育ちも東京都足立区の39歳です。どうぞよろしくお願ひいたします！

さて、今年度の青年部は「魅力ある青年部へ」ということで頑張っております！近年青年部員数が減少し、事業活動への参加者も減っています。部員の多くは実務者(現場担当者)が多く、時間に余裕がないのが現状です。そんな中、中長期的には研修によって経営者としての資質が向上している(たぶん)、交流によって生きたネットワークが創造されているという事実をもっとPRすることが大切かと思ひます。業界人として必要なものが「ここ」にあるということを知っていただき、「ここ」に来ていただくことが青年経営者にとっても、青年部という組織の将来にとっても、重要だと考えております。

また、目前に迫ったものとして、来年6月に関東ブロック青年経営者研修交流会が8年ぶりに東京で開催されることと決定しております。既に対策プロジェクトを立ち上げ、来年のブロック大会の成功へ向けて喧々諤々しているところです。会場は立川を予定しております。関東他県開催の大会が素晴らしい成功を収めており、プレッシャーを感じておりますが、東ト協青年部のチームワークで他県に負けまいと頑張りますので、ロジ研の皆様にもご支援・ご協力くださいますようよろしくお願いいたします！

話は変わって今年度はロジ研、女性部、青年部の本部長が揃って交代した初めての年であり、またロジ研さんは名称(組織)変更もされ、私が申すのもかなり僭越ですが、三組織としても新三組織元年といっても過言ではないと思ひます。今後、研修会等、事業活動において、従前どおり組織別に行った方が良いことは組織のカラーを活かし独自で実施し、それ以外の活動は、三組織定例の連絡会で積極的な情報交換、提案を行い、三組織の連携を図ることにより、人的にも時間的にも予算的にも有意義な企画が実施できるのではないかと考えております。今年度中の実現は時間的に難しいかもしれませんが、今から来年度以降を見据えた話し合いをしていくことが大切な気がします。

いささか、私の所信表明となりましたが任期中精一杯頑張りますので何卒よろしくお願いいたします！最後にロジ研のますますのご発展と皆様方のご健勝を心から祈念申し上げます。

◇壮年部長随想リレー

「中小零細企業の雇用の問題点」

深川支部 奥井 理之 坂口運輸(株)

私共の会社は、ごくごく一般的な町の運送会社です。専属便が多く得意先も10数社あります。従って、運転手が毎日顔をあわせることが出来るのは、多い専属先で10人程度、専属先が1台しかない社員の場合は、他の社員と会う機会は配車関係と一部の社員ということになります。

これはこれで仕方のない部分もあるかと思ひますが、会社への帰属意識や社員同士の仲間意識を持ってもらうためもあって、弊社では年に2回、全員が顔をあわせる行事を行っています。1つは、6月の日曜日に朝から1日をかけて行う交通安全講習会で、警察や保険会社、トラックの整備担当及びコンサルタントを招いて実施します。終了後の夕方からは、屋形船での慰労会に入り、この時、社員

全員の前で無事故の者等への表彰もいたします。あと1つは、正月の第一土曜日、社員全員が集まって行う新年会です。こういう機会をつくることにより社員同士が互いに顔を覚え、仲間意識を持ってほしいと考えて実施しています。一般に運転を職業にする人は、自分自身どこで働いてもほとんど大差がないと考えている人が多いと思われまふ。事実そういう部分がないとは言い切れないと思ひますが、言い換えれば現在勤務している会社が少しでも居心地がよければ、そこに止まるということもあると思ひます。「小差が大差」という教えもあります。社長以下管理職が一人ひとりに声を掛け、相談事に乗り愚痴を聞いてあげ、彼等が決して一人ではないと思ってもらうように努力をしています。

我々、中小零細企業は今、なかなか人が集まりません。入社しても1年以内で辞める者もおります。残念ながら賃金や福利厚生では大手には敵いません。ありきたりではあるけれど、社長が1人ひとりの顔と名前を覚えてコミュニケーション図っていくことが長期の雇用に結びつくのではないかと考えています。

皆さん、良い方法があればどうか私に教えてください。宜しくお願いいたします。

《百文字のひろば》

道路の状況は6月以前に戻ってしまったと感じませんか？その理由は実感の伴わない戦後最長の景気のせいでしょうか、私は中途半端な取締りの体制が一般に周知されたからではと！我々運送事業者は厳しくなった駐車取締りに悩みながらも、一般道が以前に比べて走りやすくなり短時間の納品等は多少なりとも楽になったと現場から聞いておりましたが、現在では放置車両の取締まりにおびえるだけ！運用が伴わないルールは不公平感ばかりが巷に蔓延するだけではないでしょうか？

西野 毅 [城東支部 (株)誠和]

今年度は運送業界にとって試練の年になった。道路交通法の改正、燃料費の値上げ等とため息の出ることばかりだったが各地から届く紅葉の便りに、東の間心が和む。

「美しい日本」という言葉に象徴される季節がやってきた。鉄道会社のCMに誘われて、息抜きに紅葉見物でもしたいところだが現実にはなかなか・・・ 柴崎 光章 [台東支部 (株)シバサキ]

《行事予定》

- ・第9回正副本部長会議
11月8日(水) 17:30～
於 東ト総合会館 6F小会議室
- ・第12回温故創新セミナー
11月18日(土)～19日(日)
テーマ「遅生まれの英雄－伊達政宗を訪ねて－」
訪問先：仙台、松島 宿泊先：ホテル大観荘(松島)
まだ、お申込みをされていない方がおられましたら、10月末日までにお願ひいたします。

◇支部研修活動助成金について

人材養成等財団事業で三組織(ロジ研・青年部・女性部)の支部研修活動の助成を行っています。年内に研修を実施、又は実施予定で、助成を希望されるロジ研支部壮年部は、12月20日までに支部事務局を通じて、本部教育研修部までご提出下さい。

助成内容の詳細は、ロジ研支部壮年部長、各支部事務局宛通知していますが、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。 東ト協教育研修部 TEL03-3359-4137